

**対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ハーモニー幼稚園校舎建設計画」
贈与契約署名式**

2019年2月5日、ベリーズケン県バーミュディアン・ランディング村公民館において、対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハーモニー幼稚園校舎建設計画」の贈与契約署名式が開催されました。

窪田臨時代理大使は、本計画は、在ベリーズ日本大使館が本年1月に開設後初めて署名される、記念すべき案件であると述べ、ベリーズの次世代を担う子供たちへの投資となる本件に署名でき、本件資金を通して園児たちにより良い教育環境を提供できることへの喜びを述べました。

ハーモニー幼稚園は、ベリーズ・リバー・ヴァレー地域唯一の幼児教育機関として2001年に設立されて以来、自前の校舎を所有せず、数度の移転を経て村の公民館で運営されています。しかし、公民館は幼稚園に適した設計ではないため、安全面や衛生面等で大きな問題を抱えていました。

本件計画でm108,353米ドルが供与され、同幼稚園専用の新しい校舎が建設され安全対策強化のためのフェンスも設置されます。これによって、同幼稚園の教育環境が改善され、子供たちがより優れた環境のもとで学ぶことができます。

本署名式には、エドモンド・カストロ運輸副大臣、マーヴィン・ケリーマン ハーモニー幼稚園本部長、ポーレット・マルティネス園長、ジェシー・ヤング 地域NGO代表、幼稚園園児、地域関係者、報道関係者、JICA関係者など約50名が出席しました。

被供与団体を代表して挨拶したケリーマン本部長は、2001年の同幼稚園設立以来、幼児教育に適切ではない仮校舎で教育を実施してきたが、新校舎建設の実現を支援して下さった、日本政府の協力を深く感謝していると述べるとともに、今後は、多くの園児がよりよい教育を享受できるようになると期待していると述べました。



窪田臨時代理大使による挨拶。



日本への謝意を述べるケリーマン本部長。



贈与契約書に署名するケリーマン本部長と窪田臨時代理大使。



左から：ケリーマン本部長、マルティネス校長、窪田臨時代理大使、カストロ運輸副大臣



バーミュディアン・ランディング村地域 NGO 代表ヤング氏より感謝の記念品を贈呈される窪田臨時代理大使。



園児による感謝の歌の披露。